

鎮魂を込めて森林消失を防ぐための植林と炭 おしゃべりサロン「相互塾」

(第73回) <入場無料>

若いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！



インドネシアのカリマンタン島に 21,037本の植林をめざして

日時：平成18年2月27日（月） 午後7時～9時
場所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室（グリーンホール南隣）
語り手：中島浩司さん 内外サービス株式会社 代表取締役

インドネシアの昔ボルネオ島と呼ばれたカリマンタン島に植林と言いますと奇異に感じる方は多いと思います。その熱帯雨林が生い茂るイメージを持つカリマンタン島は未だに焼畑耕作がいたる所で行われています。人口が増えこの焼畑農耕によって森林破壊が進行しています。熱帯地方では雨季と乾季に別れていて、仮に雨季に植林しても乾季には枯れてしまいます。ところが、木・竹炭は保水性が高いので、炭を入れて植えた苗木は乾季を越えて成長します。

1991年に林学博士の岸本定吉先生が（平成15年11月逝去）炭の力で崩壊の危機に瀕している熱帯雨林を守るため、第二次世界戦争時のかつての日本軍による21,037人の大虐殺の悲劇の地である西カリマンタン州のマンドール村に入り、焼畑移動農耕を定置型日本農耕に転換して、熱帯雨林の消失拡大を食い止めようと考えられた。2005年11月迄に12回の植林ツアーが実施され、一万本の植林がなされた事になりますが、今後も故人の意思を継いで鎮魂の意味を込め、21,037本の植林ツアーを続けて行くつもりです。

【終了後懇親会(参加自由、実費2千円前後)を行います】

気軽にお友達と誘い合わせてお越しください。お待ちしております。



主催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信 (TEL&FAX 83-9993)

E-mail mmasanob@sepia.ocn.ne.jp

(ウラへ続く)